

---

第 69 報 平成 27 年 2 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

---

### 【生コンクリート／仙台】

価格は建築標準物（21-18-20）で m<sup>3</sup> 当たり 1 万 4,000 円と前月比変わらず。これまで復旧・復興関連工事が需要の中心であったが、大型案件の出荷はピークを越え、26 年 12 月の出荷量は前年同月比で 1 割程度減少。しかし、震災前に比べると現在も 1.6 倍程度の水準で推移しており、今後も年末の地下鉄新駅開業に関連した商業ビルなど、民需の増加が予想されている。各工場は、昨年度からの出荷体制を維持して現行の販売価格を据え置く構え。先行き、横ばい推移の見通し。

### 【異形棒鋼（SD295A・D16）】

原料鉄屑価格の下落から鉄筋価格に先安観が台頭しており、需要家は当用買いに徹している。そのため、目先の引き合いは低調で、少ない数量を巡って流通側に受注優先の販売姿勢が目立ち、kg 当たり 1 円下落し 63 円（仙台）となった。市況好転材料に乏しい中、需要家の購買姿勢は一段と厳しくなることが予想される。一方、メーカーは、これ以上の市況悪化を避けるべく、採算重視の姿勢を強める構え。先行き、横ばい推移の見通し。

### 【コンクリート型枠用合板（12×900×1800mm）】

産地では、原木の出材量不足を背景に価格面で強気の姿勢を続けている。需要家は、価格の急騰を警戒しつつも徐々に値上げを容認し、市況はジリ高に推移している。仙台地区の価格は、12×900×1800mm で枚当たり 1,390 円と前月比 20 円上昇。販売側は、円安による輸入コスト上昇分を販売価格に転嫁しきれていないとして、需要家側への値上げを一層強めていく構え。先行き、強含み推移の見通し。

### 【生コン、アスファルト混合物工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる生コン、アスファルト混合物各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部

TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7700円	2月10日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	2月10日	価格は建築標準物(21-18-20)でm3当たり1万4,000円と前月比変わらず。これまで復旧・復興関連工事が需要の中心であったが、大型案件の出荷はピークを越え、26年12月の出荷量は前年同月比で1割程度減少。しかし、震災前に比べると現在も1.6倍程度で推移しており、今後も年末の地下鉄新駅開業に関連した商業ビルなど、民需の増加が予想されている。各工場は、昨年度からの出荷体制を維持して現行の販売価格を据え置く構え。先行き、横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2014年 12月号	500円/m3上昇 1万8,000円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	2月10日		ひっ迫
	南相馬		2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~)  ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	2月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	2月10日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	2月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P170~)  ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	2月10日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2014年 9月号	100円/m3上伸 3,700円	2月10日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2015年 2月号	200円/m3上伸 4,000円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	2月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,400円	2月10日	震災復旧工事の本格化に伴い、工事案件は増加。供給地も多方面に広がっており、需要は高水準で推移している。震災直後は、一部の業者で受入れ制限を行うほど廃材が発生していたが、出荷案件の増大と復興工事の進捗に伴い、現在、急速に在庫量は減少。製造側では廃材確保に注力する状況となっている。年度末にかけて、さらに需要は増大する可能性が高く、販売側の売り腰は強い。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,500円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2015年 2月号	200円/m3上伸 3,000円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,500円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2015年 2月号	300円/m3上伸 2,400円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2015年 2月号	200円/m3上伸 2,600円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2015年 2月号	100円/m3上伸 2,700円	2月10日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	2月10日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	2月10日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	2月10日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	2月10日		均衡	横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	2月10日		均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	2月10日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	2月10日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	2月10日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	2月10日		均衡	横ばい
	福島県	南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	2月10日		均衡	横ばい
		いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	2月10日		均衡	横ばい
			南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	2月10日		ひっ迫

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼管杭・鋼矢板	2月9日	鋼管杭は、昨年秋以降、大型プロジェクトが多数あり需要は旺盛。年明け以降は、昨年末に比べ、新規の引き合いは減少するなど需給のひっ迫感はやや後退した。価格はt当たり13万4,000円(全国)どこでも前月比変わらず。先行き、横ばいの見通し。 鋼矢板は施工の条件が良い渇水期にあり、需要は堅調に推移。春先まで、底堅い需要が見込まれており、価格は現行値圏内で推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
		18 ～ 21	異形棒鋼	2月9日	原料の鉄屑価格は昨年10～12月まで下落が続き、年明け以降も低水準のまま推移している。このため、鉄筋価格にも先安観が台頭しており、需要家は当用買いに徹している。目先の引き合いは低調で、少ない数量を巡って流通側に受注優先の販売姿勢が目立ち始めたことで、安値領域はさらに広がり、kg当たり1円下落し63円となった。市況好転の材料に乏しい中、需要家の購買姿勢は一段と厳しくなることが予想される。一方で、原材料価格の反発を懸念する製造側は、これ以上の市況悪化を避けるべく、採算重視の姿勢を強める構え。先行き、横ばい推移の見通し。	やや緩和	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	2月8日	沿岸部は復興道路や港湾関連、内陸部においては、横断道路関連向けに工事口、生コン工場向け需要とともに堅調に推移している。メーカー側の供給体制は今のところ支障は出ていないものの、工事が最盛期を迎えた際の運搬車両不足が懸念されている。価格面では、沿岸部は値上げ価格が浸透してきており、引き続き需要が増大している岩手、福島内陸部を中心に販売側は売り腰を強めている。先行き、強含み横ばいの見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	2月9日	産地での原木の出材量不足を背景に、メーカーは価格面で強気の姿勢を続けている。需要家は、価格の急騰を警戒しつつも徐々に値上げを容認し、市況はジリ高に推移している。仙台地区の価格は、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比20円上昇。販売側は、円安による輸入コスト上昇分を販売価格に転嫁しきれていないとして、需要家への値上げを一層強めていく構え。先行き、強含み推移の見通し。	均衡	強含み
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	2月9日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いており、荷動きは好調。価格は高止まりしており、今後も底堅い需要が見込まれることから、先行きは強含み横ばいで推移する見込み。	均衡	強含み横ばい
228 ～ 235		一般建築用 木材	2月9日	需要は災害公営住宅の建設が本格化し、民間の需要減を補うような形となっており、堅調に推移している。しかし、全体の需給をひっ迫させるまでには至っていない。先行き、価格は動意薄く、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品 (軽油・ローリー渡し)	2月10日	需要に盛り上がりを欠く中で、流通側の激しい価格競争が続いており、価格はk当たり9万円(仙台)と前月比1万2,000円の下落となった。足元、原油価格が反発していることを背景に、元売卸価格は引き上げられているものの、需給に引き締まりを欠く展開が続くことが予想されるため、先行き、横ばい。	やや緩和	横ばい
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	2月16日	リース材の稼働率はほぼ前年並みで推移している。現在、需要の最盛期で稼働率は好調に推移しているものの、4月以降は緩和する見通し。先行き、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	2月10日	復興関連工事の需要が多いが、震災直後のひっ迫感は解消されており、価格は現行水準を横ばいで推移している。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	2月10日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】</p> <p>震災復興工事関連の需要は堅調で、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫している。鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応できない場面もみられる。需給がタイトな状況下、リース業者の販売姿勢は引き締まっており、賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も旺盛な需要が見込まれており、先行き、強含み。</p> <p>【敷き鉄板】</p> <p>東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。需要期に入り全国的に敷き鉄板はひっ迫している。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。このような中、賃料は高止まりの状況が続いており、価格は横ばい推移。新材の鋼材価格に大きな変動がないため、もう一段の賃料上昇には需要家の抵抗が強く、先行き横ばい。</p>	ひっ迫	強含み



東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	2月2日	<p>全国のスト・アス需要は前年に比べ若干減少している。東北地区における需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5倍の高水準を維持している。</p> <p>仙台地区の価格は、t当たり9万4,000円と前月比横ばい。秋口から原油価格の下落が続き、平成26年12月にはスト・アス価格も下落した。その後もスト・アス市況に変動は見られず、目先、横ばい推移。</p>	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	2月9日	<p>荷動きの低迷が続いており、需給環境は依然として改善されていない。仙台地区の価格は、12×910×1820mmで枚当たり910円どころと前月比30円安。実需の回復には時間がかかるという見方が大勢を占めており、先行き、弱含み横ばいで推移する見通し。</p>	緩和	弱含み横ばい
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	2月9日	<p>東北地区の荷動きは堅調ではあるが、比較的小規模向けの出荷が多い。復興需要が本格化する時期は不透明で、現状、メーカーは平常どおりの生産体制となっている。仙台地区の価格は、主原料の銅価急落を背景にCV電線(600V)3心38mm<sup>2</sup>で、m当たり1,191円と前月比8.4%の下落。1月初旬から続いた銅価の下落は、2月に入り比較的安定した動きを見せている。先行き、弱含み横ばい。</p>	均衡	弱含み横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	2月9日	<p>需要は下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が本格化し、上下水道用・農水用製品の需要が旺盛だが、建築・設備用製品は、一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、主軸である民需が全国的に低迷しており、震災復興関連需要が製品市況を押し上げるまでに至っていない。メーカー側は昨春に2年連続の値上げを打ち出し採算改善に懸命で、安値契約の解消を進めつつ市況維持を図っている状況。しかし需要低迷に加え、樹脂原料コストの軟化を見越した需要家の値上げへの抵抗は根強い。先行き、横ばいの見通し。</p>	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	2月10日	土木系鉄筋工事は、国が継続的に発注している復興関連工事に加え、県・市区町村等の自治体発注の工事量も増えており、需要は堅調に推移している。新年度以降も、福島地区を中心に復興工事の需要増が見込まれる一方で、首都圏ではオリンピック関連工事の発注が本格化するとの見方も出始めており、被災三県における需給のひっ迫を懸念する声も聞かれる。 年度末の繁忙期を迎える中、鉄筋工を確実に確保したい総合工事業者に対し、専門工事業者側では、この機にもう一段値戻ししたいとの意向を強めており、継続的な値上げ交渉を展開している。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	2月10日	自治体を中心に復興関連の港湾・漁港工事が続いており、需要は堅調に推移している。価格は、『土木施工単価』秋号で5%程度上昇したのち、冬号では同値圏内を横ばい推移している。今後は年度末の繁忙期を迎え、専門工事業者側の値上げ要請がさらに強まる可能性が大きい。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	2月10日	復興工事を中心とした港湾工事が続いており、需要は堅調に推移している。価格は、『土木施工単価』秋号で5%程度の上伸後、冬号調査時点では取引価格に大きな変動はみられず、同値圏内を横ばいで推移している。今後は、年度末にかけて港湾工事および土木工事が繁忙期を迎えると見られ、相場形成は専門工事業者優位に展開する可能性が大きい。先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	2月9日	新規の案件はやや落ち着いているものの、沿岸部の施設建設や内陸部の復興住宅など復興向け工事が継続しているほか、オフィスビル等の開発物件もみられ、堅調に推移している。 職人の稼働率は高水準となっており、専門工事業者主導の市況展開は変わっていない。総合工事業者側も、確実な履行を見通せる工期設定や、労働力の確保を優先した受注姿勢を堅持していることから、先行きも強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	2月9日	沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているのに加え、住居・オフィスビル等の物件も継続的にみられる。こうした中、総合工事業者は型枠工の確保を優先せざるを得ない状況で、市況は強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み